

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
98

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2024年8月29日

発行：せとうちDMO

発行人：小原・京極

住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

オーストラリアにて旅行会社と意見交換会を実施！

去る7月9日から13日にかけて、誘客グループが担当している「高付加価値旅行者層へのせとうち地域周遊旅行商品 販売促進事業」の一環として、オーストラリアのメルボルンおよびシドニーにて、現地の旅行会社等と意見交換会を実施しました。

この意見交換会は、せとうち地域の周遊旅行商品の造成と販売促進を目的として行われたものです。具体的には、「せとうちエリアの認知向上」、「造成したい商品の方向性把握」、「将来的な連携体制の構築」を目指し、事前調査に基づいた資料を用いて、現地の旅行会社3社と深い議論を交わしました。



▲実際の様子①



▲実際の様子②

様々な気づきが得られた中の一例ですが、実際にお話していくなかで、山口県を含めた商品造成を考えている旅行会社様が多いことに気づきました。何うと「The New York Times」を読んで興味を持ったそうで、メディアを通じた情報発信の影響の大きさを肌で感じました。相手様のニーズに沿って山口エリア全般のコンテンツを中心に説明した結果、商品化に向けた具体的なイメージを持っていただけたと思います。

全体を通じて、いずれの旅行会社様とも活発に意見を交わすことができ、今後の商品造成と販売促進に向けて確かな手ごたえを感じました。帰国後、より詳細な情報を求める連絡を早速いただいております。現地にて直接お会いし意見交換ができたからこそのことだと感じています。

今後は、今回の現地意見交換会の結果や築いた関係を活かして、FAMツアーや商談会等に向けて連携旅行会社への継続的なフォローアップを行う等、事業を進めて参ります。



▲紹介した資料①



▲紹介した資料②

「ホテル誘致・開発相談窓口」特設ウェブサイトをオープン！

せとうちエリアは、観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業の全国11モデルの1つに選定されており、ウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシの5つの観点で総合的な施策に取り組んでいます。このうち、「ヤドに関する課題」の解決に向け、(株)瀬戸内ブランドコーポレーションでは、上質かつ地域のストーリーが感じられる滞在価値の高い宿泊施設の誘致及び開発(改修含む)を支援し、それらが質的・量的に整備されるための施策の一つとして、ホテル誘致・開発相談窓口となる特設ウェブページを設置しました。当該特設ウェブページでは、ソリューション(支援内容)やご相談の流れなどを掲載しています。

せとうちエリアでの高付加価値旅行者に向けたホテル(宿泊施設)誘致または開発に関するご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【ヤドに関する課題】

(自治体へのアンケートより)

●高付加価値旅行への対応の可否にかかわらず、地域に宿泊施設自体が少ないという回答も多かった。

●高付加価値旅行者に対応可能なウリがあるにも関わらず、それらに対応できる宿泊施設がないことから滞在や消費が伸びず、外資系ホテルや五つ星のホテルの誘致を望む声も多く、これらヤドへの対応が必要である。

(DMCへのヒアリングより)

●高付加価値旅行者に対応できるラグジュアリーな宿泊施設が不足しており、十分な送客が行われていない。

ホテル誘致・開発相談窓口

<https://setouchi-bc.co.jp/hotelsoudan/>

※瀬戸内ブランドコーポレーションのwebサイトのTopページ右上のバナーからも遷移可能。

1. 相談窓口特設サイト受付期間

2024年8月1日(木)～2025年2月上旬(予定)

2. 対象エリア・対象者

対象エリア:せとうち7県でのホテル誘致・開発

対象者:①せとうち7県に所在する自治体、民間事業者・団体

②せとうち7県でホテル(宿泊施設)開発を希望する

民間事業者・団体



3. ソリューション

①遊休不動産、土地の活用支援:活用可能性調査、事業構想策定支援による投資

②宿泊事業者の誘致:せとうち内外の事業者(外資系含む)の誘致支援

③事業者紹介:必要な機能の事業者マッチング支援

④コンサルティング:事業構想～事業計画策定支援、事業承継・事業譲渡支援

⑤資金調達支援:投融資計画策定支援、せとうち観光サステナブルファンドによる投資

⑥地域連携支援:地域一体となった観光活性化のため自治体・地域事業者との地域連携を支援

LINE会員登録で当たる！ 島と暮らす プレゼントキャンペーン！実施中

この度、株式会社島と暮らすではお客様の利便性向上やせとうちの魅力発信の為、公式LINE【島と暮らすCLUB】を開設致しました。開設記念として、抽選で3組6名様に!せとうち人気宿泊施設の無料宿泊券 が当たるキャンペーンを2024年10月31日まで実施しています。



瀬戸内の魅力を体験しよう!
人気宿泊施設の宿泊券
3組6名様
抽選で合計
3組6名様
ご招待!

プレゼント
キャンペーン
実施中!

2024.07.22 [Mon] - 10.31 [Thu]

さらに!

島と暮らすCLUBメンバーにご登録いただいた方全員に、島と暮らすオンラインショップで使える500円OFFクーポンをプレゼント中!

島と暮らすCLUBメンバーにご登録いただくこと、島と暮らすオンラインショップへの会員登録も合わせて行われます。500円OFFクーポンは商品合計金額3,000円以上でご利用可能です。

キャンペーン概要

キャンペーン名称	せとうち人気宿泊施設 無料宿泊券プレゼントキャンペーン!
キャンペーン対象者	キャンペーン期間中に島と暮らすCLUBメンバーの登録を行っていただいた方 (3組6名様)
キャンペーン応募期間	第1弾：2024年7月22日 (月) ~8月31日 (土) 第2弾：2024年9月1日 (日) ~9月30日 (月) 第3弾：2024年10月1日 (火) ~10月31日 (木)
当選者発表	LINEメッセージ、もしくは、メールにて通知します

島と暮らすCLUBメンバーとは

「島と暮らすCLUBメンバー」は、瀬戸内の7県の魅力を存分に楽しむための特別な会員制度です。厳選された地域特産品の旬の情報や会員限定のお得な情報、イベントのご紹介など、瀬戸内の豊かな文化と味覚を身近に感じられる特典をご用意しています。
瀬戸内ファンの皆様、ぜひご登録ください。



新規メンバーのご紹介

2024年8月1日付の人事異動にて新たに1名がせとうち観光推進機構に加わりました。
新メンバーを含めせとうちDMO全員でこれからのせとうち地域を観光で盛り上げていきますので、よろしくお祈りします！

誘客グループ アシスタントマネージャー 上野 大雅



本四高速から出向の上野です。
せとうちの魅力発信・盛り上げに貢献できるように頑張ります。
よろしくお祈りいたします。



せとうちアカデミー報告

第109回せとうちアカデミー：ひょうごフィールドパビリオンを中心とした万博に向けた取り組みについて

半世紀ぶりに開催される大阪・関西万博。
産業発展や技術革新を披露する場から、人類共通の課題解決の
アイデアを提言する場へと、その意味を変えてきたのが21世紀型の万博です。

「その課題解決のヒントは、実はローカルな現場にあるのではないか」

兵庫県は歴史も風土も異なる五国から構成され、これまで地域の人々が
主体となって課題解決に取り組み、未来を切り拓いてこられました。
そのような地域のヒーローに光をあて、その現場に人がくることで、
シビックプライドの醸成につなげていく。
その取り組みが『ひょうごフィールドパビリオン』です。

今回のせとうちアカデミーでは、このひょうごフィールドパビリオンを中心に
兵庫県様の万博に向けた取り組みをお話いただきました。

【ひょうごフィールドパビリオンとは】
<https://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp/>



- ◆ 講師：兵庫県企画部万博推進局フィールドパビリオン推進課
フィールドパビリオン班長 佃 真輔 氏
- ◆ 日時：2024年7月25日（木）14:00～15:00

第110回せとうちアカデミー： 関西国際空港のインバウンドデータからみる「せとうち」への人流について

3.8%。
これは関西国際空港から入国したインバウンドのうち、
瀬戸内地域を訪問している人の割合です。(2019年)
この数字をご覧になり、「思ったよりも訪問している」とお感じになったでしょうか、
それとも「こんなに少ないのか」とお感じになったでしょうか。

関西国際空港から入国しているインバウンドは、関西地域にとどまることなく、
自然や文化、食など多彩な魅力を持つ瀬戸内地域にも足を運んでいます。

関西国際空港の特性や利用客の実態、
また到着した訪日客がどの地域を訪問しているのか、
同空港運営の関西エアポート様にビッグデータも交えてお話をいただきました。

今回のアカデミーの内容が、
関西国際空港から瀬戸内地域へのさらなる人流拡大に向けて
ぜひ皆様の検討の一助となれば幸いです。



- ◆ 講師：関西エアポート（株）渉外本部地域連携部広域連携グループグループリーダー 木村 絵里氏
- ◆ 日時：2024年8月8日（木）14:00～15:00